

令和4年度 第2回 広島県道徳教育研究協議会

# 未来を担う子供の心を育てる 道徳教育

令和5年2月10日(金)

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官  
国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官  
浅見 哲也

**先生、どうして  
道徳の勉強をするの？**

**2030年は**  
**どのような世の中**  
**になるのでしょうか!?**

# Society5.0時代

インターネットや人工知能を活用した社会

少子高齢化、地域格差、貧富の差などの課題を解決し、一人一人が快適に暮らせる社会の実現を目指す。

狩猟社会 (Society1.0)

農耕社会 (Society2.0)

工業社会 (Society3.0)

情報社会 (Society4.0)

人は時を経て、自然の中の生き物から社会的な生き物へと変化していった。

# 2030年の社会と子供たちの未来

－人工知能の進化と自動化－

# 人工知能の急速な進化

“人間の職業を奪うのではないか”

“今学校で教えていることは時代が変化したら通用しなくなるのではないか”



# 未来予想の研究

2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に**今は存在していない職業**に就くだろう。

キャシー・デビッドソン氏(ニューヨーク市立大学大学院教授)

今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が**自動化される**可能性が高い。

マイケル・オズボーン氏(オックスフォード大学准教授)

人工知能が進化し、様々なものが**自動化**され、人間が行う仕事が変わっていく。



これから求められる人材は？

# これから求められる力

- どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え出す力
- 答えのない課題に対して、多様な他者と協働しながら目的に応じた納得解を見いだす力

思考

表現

創造

理解

判断

協働

...

# 新しい時代に必要となる資質・能力

何ができるようになるか

- 生きて働く「**知識・技能**」の習得

何を理解しているか、何ができるか

- 未知の状況にも対応できる  
「**思考力・判断力・表現力等**」の育成

理解していること、できることをどう使うか

- 学びを人生や社会に生かそうとする  
「**学びに向かう力・人間性等**」の涵養

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

# 学習指導要領改訂の方向性

## 新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

### 何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、  
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

### 「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

### 何を学ぶか

#### 新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

**学習内容の削減は行わない※**

### どのように学ぶか

#### 主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得  
など、新しい時代に求められる  
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い  
理解を図るための学習過程  
の質的改善

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

※高校教育については、些末な事実的知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

# 全教育活動を通じて行う 道徳教育の推進

道徳

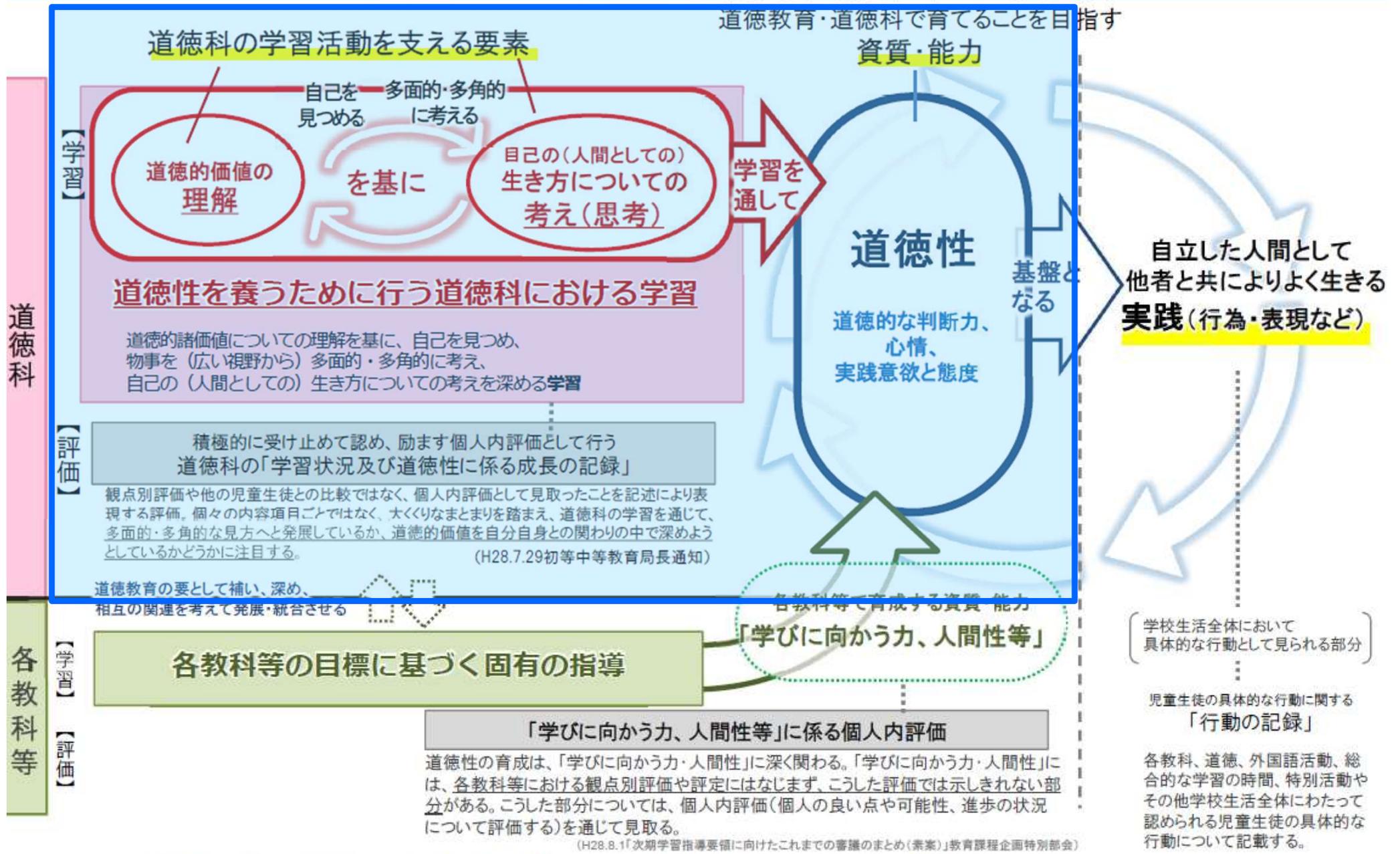
道徳教育の要となる  
道徳科の授業の充実

# 道徳教育の目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

# 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため**、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。



※ 本図は道徳性の育成に関わる学習(活動)に着目して整理したものであり、この他にも、道徳性が養われる過程には様々な整理の仕方があると考えられる。(例えば、実践を通して道徳性が養われることもある。)

# 道徳性とは

- ・思考や判断、行動などを通してよりよく生きるための営みを支える基盤となるもの
- ・人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指して行われる道徳的行為を可能にする人格的特性であり、人格の基盤をなすもの
- ・人間らしいよさであり、道徳的価値が一人一人の内面において統合されたもの

# 道徳的価値とは

よりよく生きるために必要とされるもの

人間としての在り方や生き方の礎となるもの

■ 今後、様々な問題場面に出会った際に、その状況に応じて自己の生き方を考え、主体的な判断に基づいて道徳的実践を行うためには、**道徳的価値**の意義及びその大切さの理解が必要になる。

■ 学校教育では、これらのうち発達の段階を考慮して、児童生徒一人一人が道徳的価値観を形成する上で必要なものを**内容項目**として取り上げている。

# 内容項目

小

## A 主として自分自身に関すること

[善悪の判断, 自律, 自由と責任][正直, 誠実][節度, 節制]  
[個性の伸長][希望と勇気, 努力と強い意志][真理の探究]

## B 主として人との関わりに関すること

[親切, 思いやり][感謝][礼儀][友情, 信頼][相互理解, 寛容]

## C 主として集団や社会との関わりに関すること

[規則の尊重][公正, 公平, 社会正義][勤労, 公共の精神]  
[家族愛, 家庭生活の充実][よりよい学校生活, 集団生活の充実]  
[伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度][国際理解, 国際親善]

## D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること

[生命の尊さ][自然愛護][感動, 畏敬の念][よりよく生きる喜び]

## A 主として自分自身に関すること

[自主, 自律, 自由と責任] [節度, 節制][向上心, 個性の伸長]  
[希望と勇気, 克己と強い意志][真理の探究, 創造]

## B 主として人との関わりに関すること

[思いやり, 感謝][礼儀][友情, 信頼][相互理解, 寛容]

## C 主として集団や社会との関わりに関すること

[遵法精神, 公德心] [公正, 公平, 社会正義] [社会参画, 公共の精神] [勤労] [家族愛, 家庭生活の充実] [よりよい学校生活, 集団生活の充実][郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度]  
[我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度] [国際理解, 国際貢献]

## D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること

[生命の尊さ][自然愛護][感動, 畏敬の念][よりよく生きる喜び]

# 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

# 学校教育における**道徳教育**で養う**道徳性**

道徳的判断力

道徳的心情

道徳的実践意欲

道徳的態度

道徳性を  
構成する  
諸様相

- ・ 一人一人の児童(生徒)が道徳的価値を自覚し、自己の(人間としての)生き方についての考えを深め、日常生活や今後出会うであろう様々な場面、状況で、**道徳的価値**を実現するための適切な行為を主体的に選択し、実践することができるような**内面的資質**

# 目標

## 学校教育における道徳性の捉え方

### 道徳的判断力

それぞれの場面で善悪を判断する能力

### 道徳的心情

道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情

### 道徳的実践意欲

道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働き

### 道徳的態度

道徳的判断力や道徳的心情に裏付けられた具体的な道徳的行為への身構え

# 道徳科の授業のねらい

道徳科の内容項目を基に、  
ねらいとする  や  を  
端的に表したものの

# 道徳科の授業のねらい

道徳科の内容項目を基に、  
ねらいとする道徳的価値や道徳性の様相を  
端的に表したものの

例：自分の特徴に気付き、長所を伸ばそうとする  
(道徳的)態度を育てる。

例：誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない  
社会の実現に努めようとする(道徳的)心情  
を育てる。

# 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

道徳的諸価値の理解を基に

道徳的価値の  
意義及び大切さを  
理解する

# 道徳的諸価値について理解する

## (1) 価値理解

人間としてよりよく生きる上で大切なことであると理解すること

## (2) 人間理解

道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなども理解すること

## (3) 他者理解

道徳的価値を実現したり, 実現できなかったりする場合の感じ方, 考え方は一つではない, 多様であるということを前提として理解すること

# 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

# 自己を見つめ

(1) 価値理解

(2) 人間理解

(3) 他者理解

自分との関わりで捉える

自分の経験やそのときの感じ方、考え方と照らし合わせながら、考えを深める

自己理解

- 成長を実感する
- 課題や目標を見つける

# 自我関与とは

ある事柄を自分のもの  
あるいは  
自分に関係があるもの  
として考えること。

# 道徳科の目標

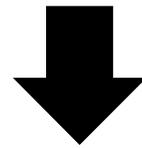
第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

# 多面的・多角的に考える

「多面的」とは、学習対象が様々な面をもっていることを、「多角的」とは、学習対象を様々な角度から考察し、理解することを意味している。

# 多面的・多角的に考える

- 多様な感じ方や考え方に接する
- 多様な価値観の存在を前提に考える
- 他者と対話したり協働したりしながら考える



児童生徒一人一人は、価値理解と同時に人間理解や他者理解を深め、更に自分で考えを深め、判断し、表現する力などを育むのである。

学習指導過程の展開の段階で、教材を活用しながら道徳的価値を自覚していく。

自分との関わり

多面的・多角的

①自分の価値観(気持ちや考え)を確かめる。

人間理解

②みんなの価値観を出し合い、比べ合う。

他者理解

③いろいろな気持ちや考えの中から、よりよいと思うものを見付け、自分の生き方に生かそうとする。

価値理解

自己の生き方についての考えを深める

# 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

## 自己の生き方についての考えを深める

- 児童が道徳的価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止められるようにする。
- 他者の多様な感じ方や考え方に触れることで身近な集団の中で自分の特徴などを知り、伸ばしたい自己を深く見つめられるようにする。
- それとともに、これからの生き方の課題を考え、それを自己の生き方として実現していこうとする思いや願いを深めることができるようにする。

## 人間としての生き方についての考えを深める

- 人間にとっての最大の関心は、**人生の意味**をどこに求め、**いかにによりよく生きるか**ということにあり、**道徳**はこのことに直接関わるものである。
- 人間は、**自ら生きる意味**や**自己の存在価値**に関わることについては、**全人格**をかけて取り組む。
- 人間についての深い理解と、これを鏡として行為の主体としての**自己を深く見つめる**ことを接点に、**生き方**についての深い自覚が生まれていく。

このような視点に立って、生徒が**人間としての生き方**について考えを深められるようにする。

# 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

道徳的な判断力、心情、  
実践意欲と態度を育てる

長期的な展望と綿密な計画に  
基づいた丹念な指導がなされ、  
道徳的実践につなげていくこと  
ができるようにする。

これからの未来を見据えると  
今、子供たちに  
どんな**道徳的価値**の指導を通して  
**道徳性**を養うことが  
必要なのでしょうか？

# 目指す子供像と重点内容項目の例

あかるく

礼儀 規則の尊重

◆笑顔であいさつができ、約束やきまりが守れる子

なかよく

親切、思いやり 友情、信頼

◆思いやりの気持ちをもって、みんなと仲良くできる子

たくましく

希望と勇気、努力と強い意志

◆夢や目標に向かって、粘り強く努力できる子

# 内容項目

## A 主として自分自身に関すること

[善悪の判断, 自律, 自由と責任][正直, 誠実][節度, 節制]  
[個性の伸長][希望と勇気, 努力と強い意志][真理の探究]

## B 主として人との関わりに関すること

[親切, 思いやり][感謝][礼儀][友情, 信頼][相互理解, 寛容]

## C 主として集団や社会との関わりに関すること

[規則の尊重][公正, 公平, 社会正義][勤労, 公共の精神]  
[家族愛, 家庭生活の充実][よりよい学校生活, 集団生活の充実]  
[伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度][国際理解, 国際親善]

## D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること

[生命の尊さ][自然愛護][感動, 畏敬の念][よりよく生きる喜び]

# これから求められる力

- どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え出す力
- 答えのない課題に対して、多様な他者と協働しながら目的に応じた納得解を見いだす力

思考

表現

創造

理解

判断

協働

...

# 内容項目

## A 主として自分自身に関すること

[善悪の判断, 自律, 自由と責任][正直, 誠実][節度, 節制]  
[個性の伸長][希望と勇気, 努力と強い意志][**真理の探究**]

## B 主として人との関わりに関すること

[親切, 思いやり][感謝][礼儀][友情, 信頼][相互理解, 寛容]

## C 主として集団や社会との関わりに関すること

[規則の尊重][公正, 公平, 社会正義][勤労, 公共の精神]  
[家族愛, 家庭生活の充実][よりよい学校生活, 集団生活の充実]  
[伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度][国際理解, 国際親善]

## D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること

[生命の尊さ][自然愛護][感動, 畏敬の念][よりよく生きる喜び]

## 内容項目

### 真理の探究

#### 小学校高学年

真理を大切にし、物事を探究しようとする心をもつこと。

教材名「**天からの手紙**」

出典「私たちの道徳」他  
小学校5・6年生(文部科学省)

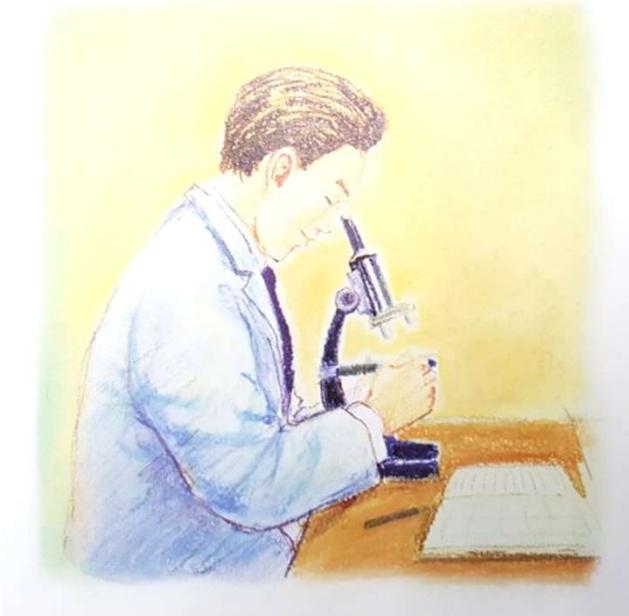
## 教材

# 天からの手紙

出典 「私たちの道徳」小学校5・6年(文部科学省)他

日頃から雪害を防止したいと思っていた中谷宇吉郎は、ある日、手にした写真集の雪の結晶の美しさに感動し、雪の研究に着手する。

実験装置作りや、雪の核になるものを求めて失敗を繰り返しながらも工夫を続け、ついに、うさぎの毛を利用して雪の結晶作りに成功する。



# 「天からの手紙」の板書

**起こすための物をつくる**

朝起きられない

起こすための物をつくる

その人も変えたい

想像力

終着点を見つけて逆のぼる

一人ではなく、みんなまで考える

イメージが出来る

人それぞれ

よびこみ

あきらめずにやがする

地道にやがてきかない

思い通りにならない

努力を無駄にしない

もしかしたら成功するかもしれない

天からの手紙

困ったことを解決するための必要なことは何だろうか？

中谷 幸彦

習慣 仕事 パソコン おもちゃ

お菓子が好き 虫 知ること

発想がすごい 流行

自然のものも人工でつくる

小さなことでも実行する

真理の探究

# 「天からの手紙」の板書

①興味をわきたり

習い事 パソコン おもしろい

お菓子づくり 空工 知らないこと

②発想がすごい 流行

自然のものも人工でつくる  
としたこと

小さなことでも実行すること

③あきらめずに努力する

地道に努力できな

思い通りにならない

努力を無駄にしたくない

もしかしたら成功するかもしれない

想像力

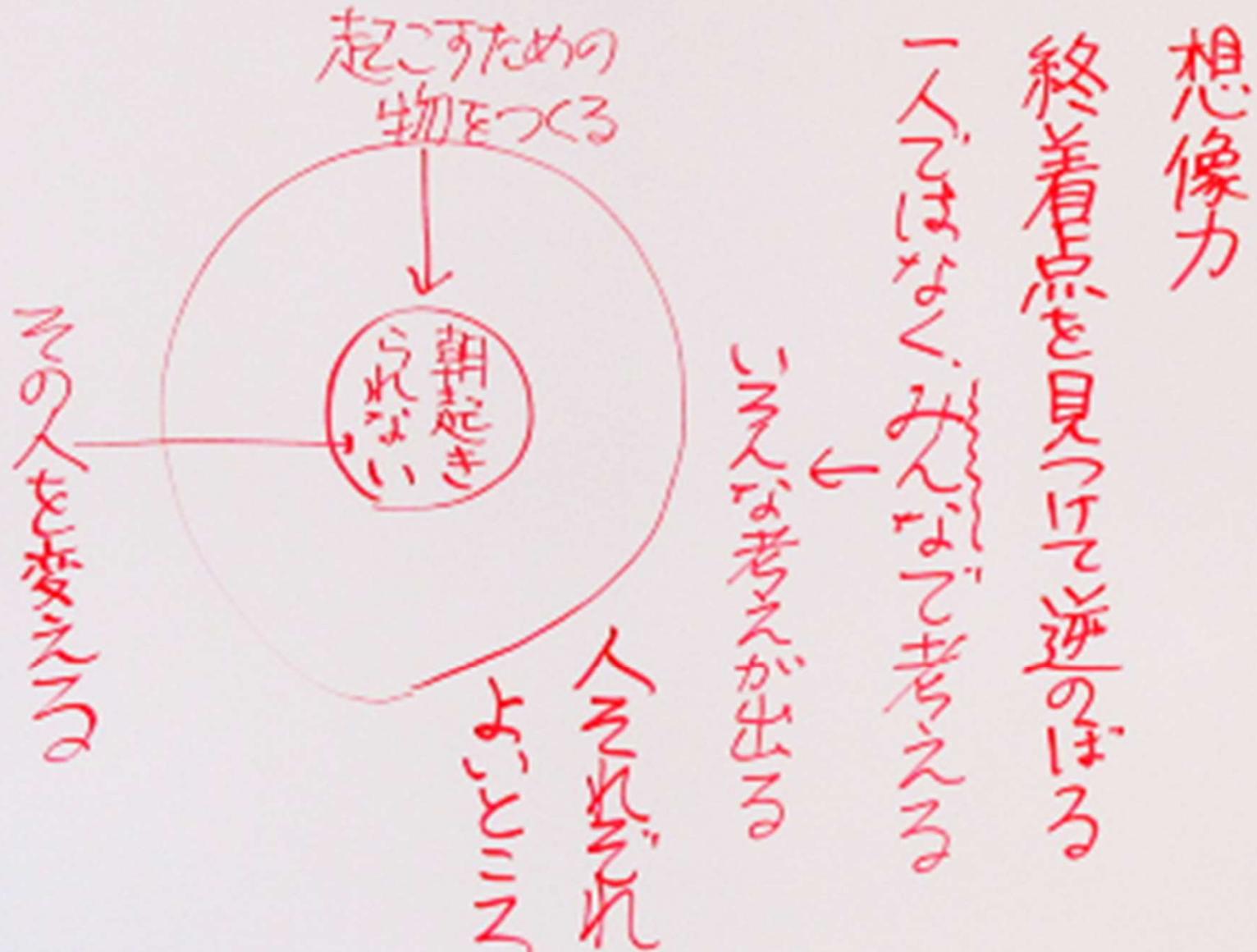
終着点を見つけて逆のぼる

一人ではなく、みんなで考える

↑  
みんな考えが出る

真理の探究

# 「天からの手紙」の板書



真理の探究

これからのインターネットと人工知能を活用した時代(Society5.0)を迎え、道徳教育としてどのような内容が求められるのか？

- ・他者と共によりよく生きていくために必要な感情交流
- ・人工知能には想定できない人間そのものの理解

# 内容項目

小

## A 主として自分自身に関すること

[善悪の判断, 自律, 自由と責任][正直, 誠実][節度, 節制]  
[個性の伸長][希望と勇気, 努力と強い意志][真理の探究]

## B 主として人との関わりに関すること

[親切, 思いやり][感謝][礼儀][友情, 信頼][相互理解, 寛容]

## C 主として集団や社会との関わりに関すること

[規則の尊重][公正, 公平, 社会正義][勤労, 公共の精神]  
[家族愛, 家庭生活の充実][よりよい学校生活, 集団生活の充実]  
[伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度][国際理解, 国際親善]

## D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること

[生命の尊さ][自然愛護][感動, 畏敬の念][よりよく生きる喜び]

# 電車内でのエピソード から考える**道徳的価値**

# 令和の日本型学校教育

---



# 令和の日本型学校教育

全ての子供たちの可能性を引き出し、  
個別最適な学びと、協働的な学びの実現

我が国の学校教育には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。

# 令和の日本型学校教育

全ての子供たちの可能性を引き出し、  
個別最適な学びと、協働的な学びの実現

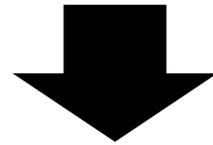
- ・学習指導要領の着実な実施

- ・ICTが学校教育を支える  
基盤的なツール

# 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の子供たちが自分自身の問題と捉え、向き合う、「**考え、議論する道徳**」への転換、「**主体的・対話的で深い学び**」の視点からの改善が求められる。



道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習



令和の日本型

学校教育

**I C T**を効果的に**活用**して、全ての子供たちの可能性を引き出す

個別最適な学び

協働的な学び

# 道徳科の学習指導過程でのICT活用例

段階	学習の目的	主な学習活動	ICTの活用例
導入	・実態や問題を知る。	・道徳的価値について、 問題意識をもつ。	・実態や問題の提示 (画像や映像、グラフ等)
展開	・教材を活用して、道徳的価値を理解し、よりよい生き方を考える。	・自分自身との関わりで考える。 ・多面的・多角的に考える。 ・自己の(人間としての)生き方についての考えを深める。	・教材の提示 (画像や映像等) ・自分の考えをもつ (ICT端末に示す) ・他者の考えを知る (ICT端末に共有する) (表やグラフ等) ・話し合う(対話) ・自己を見つめる (ICT端末に蓄積する)
終末	・よりよい生き方の実現への思いや願いを深める。	・道徳的価値についての自己実現への意欲を高める。	・生活の様子への提示 (画像や映像等) ・外部の方の言葉への提示 (画像や映像等)

# 一人一人の子供の心の可視化





# 子供たちの考えの傾向を知る



# 授業前の考えの傾向を知る

Go to [www.menti.com](http://www.menti.com) and use the code 2926 7949

## 友達と考えが異なるとき、どうしてる？

自分の意見が言える時は言う  
相手がやりたいのを優先する  
友達に合わせている  
相手を優先  
押し負ける  
意見に納得  
相手に合わせる  
皆と合わせる  
友達にあわせる  
交互にやる  
良さを伝える  
相手の意見をきく  
説明訴える  
話し合い

共感して納得させる  
じゃんけんする  
ゆずる  
一緒にする  
聞き  
無言  
何も言わない  
多数決  
話し合う  
流す  
合わせる  
じゃんけん  
相手に合わせる  
多数決かジャンケン  
自分が譲る  
時々合わせる  
ジャンケンで決める  
はっきりと自分の意見

言い争うこともある  
相手の意見を言う



# 今後の**道徳科**における**ICT**端末活用の**課題**

ICT端末の活用による一人一人の**子供の心の把握**

一人一人の子供の可能性を引き出す  
道徳科の授業の実現

ICT端末の活用により生み出された**時間の有効活用**

自己の生き方についての考えを深める  
道徳科の授業の実現

# 全教育活動を通じて行う 道徳教育の推進

道徳

道徳教育の要となる  
道徳科の授業の充実

# 道徳教育の目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

# 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う**ため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

道徳的な判断力、心情、  
実践意欲と態度を育てる

長期的な展望と綿密な計画に  
基づいた丹念な指導がなされ、  
道徳的実践につなげていくこと  
ができるようにする。

# 道徳教育の推進を図るために…

## カリキュラム・マネジメント

学校が主体的に子供や地域の実態など  
様々な事項を的確に把握して、  
**育てたい子供像**を明確にして  
目標を設定し、計画を立てて、  
教職員が**共通理解**、**共通実践**できるようにする

校長の  
リーダーシップ



学校の  
組織力



# 道徳教育 と道徳科 の循環



**先生、どうして  
道徳の勉強をするの？**

望む未来を私たち自身で示し、作り上げていくことが  
求められる時代

## ウェルビーイング

一人一人の多様な幸せであるとともに社会全体の幸せでもある  
ウェルビーイング (Well-being)

道徳教育は...

子供たちの未来への投資